

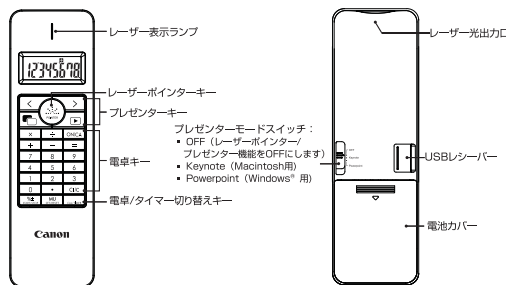
ご使用になる前に必ずお読みください

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、次の指示と「安全にお使いいただくために」をよくお読みの上、本機を正しくお使いください。また、本書をお読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

本機は、Windows® およびMacintoshシステムで使用できます。

- プレゼンター機能を使用する際に、本機背面のプレゼンターモードスイッチを正しいモードに設定してください。プレゼンターモード設定を誤った場合、正しく機能することがあります。
- 本機ご使用前に、USBレシーバーをお使いのパソコンに接続してください。

各部の名称



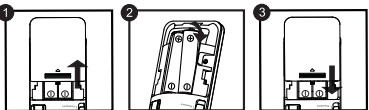
電池残量低下インジケータ

表示画面が暗くなり、アイコン が表示された際は、ワイヤレス接続が行えません。電池を交換してください。

ご使用前の設定

電池を交換する

- 1) 本機背面の電池カバーを矢印の方向に押しながら外します。
- 2) 極性 (+、-) を間違えないように注意しながら、電池ケースに単4形乾電池を2本入れます。
- 3) 電池カバーをもとの位置に戻します。



注意:

- 使用済みの電池は、(+) 極 (-) 極をテープで絶縁してから、お住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。
- 電池の極性を間違えて入れると、爆発の危険があります。

USBレシーバーを接続する

- 1) 本機背面からUSBレシーバーを取り外します。
- 2) お使いのパソコン上のUSBポートにUSBレシーバーを接続します。

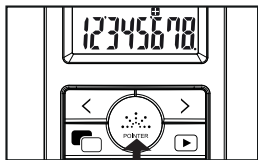
使い方のヒント

- ・本機をパソコンに接続する前に、必ずパソコン内のデータをバックアップしてください。
- ・本機の使用が終了したときは、パソコンからUSBレシーバーを取り外し、本機背面に戻してください。
- ・パソコンと本機で接続障害が発生した場合は、次の手順に従ってください。
 - 1) パソコンからUSBレシーバーを取り外し、プレゼンターモードをOFFにします。
 - 2) 本機のプレゼンターモードスイッチをKeynoteあるいはPowerpointに設定します。
 - 3) USBレシーバーをパソコンに接続します。
- ・他のパソコンで本機を使用する場合、再度USBレシーバーの接続を行ってください。
- ・パソコンとのワイヤレス接続を正常に行うには乾電池からの電源供給が必要です。

プレゼンターモード

レーザーポインターの操作

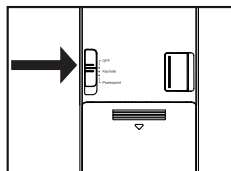
レーザー光出力を指し示めたい方へ向け、レーザーポインターキーを押します。(レーザーポインターキーを押ししている間、レーザー表示ランプが点灯します。)



レーザーポインターキー

Keynote/Powerpointの操作

お使いのOSに従い、本機背面のプレゼンターモードスイッチをKeynoteまたはPowerpointに設定してください。



● スライドショーの開始/終了

- スライドショー開始
- 一度押すと指定のページから再生します
- 再度押すとプレゼンテーションを閉じます

● スライドショーのページ操作

- 進む
- 次のスライドに進みます
- 戻る
- 前のスライドに戻ります

● スライドショーを一旦隠したい時

- ブラックスクリーン
- スクリーンをブラックにします
- 再度押すと元のページに戻ります

電卓モード

を押して電卓モードにします。

- ON/C: 電卓の電源を入れる時に押します
- ON/C: オールクリアする時に使います
- C: 数値を誤って入力した直後にこのキーを押すと、表示がクリアされます
- C: 入力をクリアします
- %: パーセント計算、割増し、割引き計算を行う時に使います
- MU: マークアップ計算 (売価計算) を行う時に使います

■ パーセント計算

| 例1) 300の27%は | 計算操作 | 表示 |
|----------------------------------|------|-----|
| $300 \times \frac{27}{100} = 81$ | | 81. |
| 例2) 2は10の何%? | | 20. |

■ マークアップ計算 (売価計算)

例) 原価2,000円の場合、粗利率率20%を得たいときの売価を求めます。

| 2,000+(売価×20%)=売価 | 計算操作 | 表示 |
|-------------------------------------|------|-------|
| 売価 = $\frac{2,000}{1-20\%} = 2,500$ | | 2500. |
| 粗利率 = $2,500 - 2,000 = 500$ | | 500. |

■ オーバーフロー

次の場合、オーバーフローアイコン「E」を表示し、以降の置数、演算を停止します。オーバーフローは または キーを押して解除してください。

- 1) 入力または演算結果の整数部が8桁を超えた場合
演算結果は上位8桁のみを表示し、下位桁は表示されません。そのとき演算結果に小数点が表示されます。最上位桁から小数点までの桁数を数えたと、表示されていない下位桁の桁数を知ることができます。

| 計算例 | 操作 | 表示 |
|---|----|-------------|
| $12345678 \times 1000 = 12,345,678,000$ | | E 123,45678 |

2) 除数が0の除算を行った場合

| 計算例 | 操作 | 表示 |
|----------------|----|-----|
| $2,000 \div 0$ | | E 0 |

オートパワーオフ

■ 本機は、電源を入れたままキー操作を行わないと約7分後に、自動的に電源が切れ、表示が消えます。(電卓モードのみ)
 を押すと、再び電源が入ります。

タイマーモード

を押してタイマーモードにします。

タイマー設定

- 1) を3秒間長押しし、時間を設定します。
- 2) 数字キーで時間を入力し、 を押して設定を確認します。(9時間59分59秒まで設定できます)
- 3) を押すとカウントダウンを開始します。(「COUNT ▼」アイコンが点滅します)

使い方のヒント

- A) を押すとカウントダウンを一時停止することができます。再度 を押すことでカウントダウンを再開することができます。
- B) カウントダウン時間が0:00:00になった場合、自動的にカウントアップを開始し、点滅します。カウントダウン/アップを一時停止し を押すと、元の設定時間に戻ります。
- C) 時間を設定せずに (0:00:00の状態) を押すことでカウントアップのみ使用することもできます。
- D) カウントが最大値の9時間59分59秒を超過した場合、「COUNT ▲ E」アイコンが表示されます。
- E) カウントダウン/アップ中でもモードを変更し電卓を使用できます。
- F) カウントの途中で電卓モードに変更すると、「COUNT ▲」または「COUNT ▼」アイコンが点滅します。

修理お問い合わせ専用窓口

パーソナル機器修理受付センター (全国共通番号) 050-555-99088

[受付時間] 9:00 ~ 18:00

(日曜、祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

製品取扱い方法ご相談窓口

キヤノンお客様相談センター (全国共通番号) 050-555-90025

[受付時間] 平日 9:00 ~ 20:00

土・日・祝日 10:00 ~ 17:00

(1月1日~1月3日は休ませていただきます)

- ※ 上記番号をご利用頂けない場合は、043-211-9632 をご利用ください。
- ※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。
- ※ 上記記載内容は、都合により予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2013年1月1日現在

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 お問い合わせ先 050-555-90025

2013年1月1日現在

上記の記載内容は都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

Canon



E-41-1282

X Mark I Presenter 使用説明書 保証書付

保証規定

1. 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で保証期間中に、万一故障した場合は、本保証書の本製品に添付のうえ、弊社または表記の販売店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理または機械交換を行います。なお、この場合の交通費、送料および諸掛かりはおお客様のご負担となりますので、予めご了承ください。
2. 保証期間中でも次の場合は有料修理となります。
 - (1) 取扱上の不注意、誤用による故障および損傷 (表示画面のガラス割れ等)
 - (2) 不適切な移動・落下等による故障および損傷
 - (3) 弊社または表記の販売店以外での修理、改造による故障および損傷
 - (4) キヤノン製以外の消耗品や部品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障および障害
 - (5) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (6) 本保証書の提示がない場合
 - (7) 本保証書にお買上年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは文字を書き換えられた場合
 - (8) 接続している他の機器に起因して故障が生じた場合
3. お客様に迅速かつ確実なサービスをお届けるため、同一機種または弊社規定に従い同等程度の仕様製品との機械交換方式を採用しています。なお、故障状況により部品交換方式を採用させていただく場合がございますので、予めご了承ください。
4. 消耗品類は、本保証書による保証の対象とはなりません。
5. 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害については、弊社ではその責任を負いかねますので、ご了承ください。
6. 転居、譲り受け、贈答等の場合で表記の販売店に修理を依頼できない場合には、弊社にお問合せください。
7. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
8. 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

- ※ 本保証書は、以上の保証規定により無料修理をお約束するためのもので、これにより弊社及び弊社以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※ 保証期間経過後は弊社規定の修理・交換料金を申し受けます。
- ※ 保証内容や修理のお問い合わせは、パーソナル機器修理受付センターまでお願い致します。

仕様

形式：X Mark I Presenter
電源：単4形アルカリ乾電池 x 2本
表示：液晶表示8桁
演算桁数：置数、被演算数/演算数：8桁
結果：上位桁優先8桁
使用温度：5°C ~ 35°C
オートパワーオフ：約7分間（電卓モードのみ）
本体：143mm（奥行）x 43.5mm（幅）x 19.5mm（高さ）
重量：61.5g（電池を除く）/ 84.5g（電池を含む）
付属品：USBレシーバー、ソフトケース、単4形乾電池 x 2本

ワイヤレス仕様

周波数：2.4 GHz
動作距離：最大10メートル
注意：接続範囲は、近くに金属物がある場合や本機とUSBレシーバーの相対位置などにより変化する場合があります。

※製品の仕様は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

動作環境

◆OS
Windows® XP (SP2以上)、Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8、Mac OS X 10.4~10.8がブレイクストールされていること

◆パソコン
以下の条件を満たすIBM PC/AT互換（DOS/V）機/Macintosh
・Windows® XP (SP2以上)、Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8、Mac OS X 10.4~10.8が動作可能で本体にUSBポートを装備しているもの

◆ソフトウェアバージョン
Powerpoint 2003以上であること
Keynote 全バージョン（2012年11月時点）

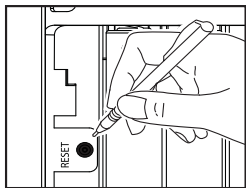
◆USB2.0ポート

※その他、Windows® XP(SP2以上)、Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8、Mac OS X 10.4~10.8が推奨する動作環境に準拠。
※機器の構成により正常に動作しない場合があります。
※上記以外のOSをご使用の場合は、動作しません。
※他のOSからバージョンアップされたパソコンでの動作保証は致しません。
・Microsoft Windowsは、米国Microsoft corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
・Macintoshは、米国及び他の国で登録された、米国アップルコンピュータ社の商標です。
・その他の会社名及び製品、サービス名は、それぞれを表示するためだけ引用されており、それぞれの各社の登録商標である場合があります。

故障かな？と思ったら

本機がパソコンと接続できない、または正しく機能しない場合：

- 電池の極性（+、-の方向）を確認してください。
- お使いのパソコンがシステム要件を満たしているか確認してください。
- USBレシーバーがパソコンのUSBポートに正しく差し込まれているか確認してください。
- パソコンと本機の間には障害物がある場合は取り除いてください。
- ワイヤレス接続された後、本機ディスプレイ表示が消えた場合は、**[ON/IC]**を押してアイコン**[X]**が表示されているか確認してください。
- アイコン**[X]**が表示されている場合は、電池を交換してください。
- 演算結果の整数部が8桁を超えた場合、または0で数値を割る場合、アイコン「E」が表示されます。**[ON/IC]**または**[C/IC]**を押すと、メモリがクリアされ演算を再開することができます。
- 電磁干渉や静電気放電によりは表示部に誤動作が起きる場合があります。その場合は、ボールペン等の先端（または先の細いもの）を使って、本体背面[RESET]ボタンを押し、本機をリセットしてください。



●本機のUSBレシーバーをノートパソコンに接続した場合、お使いのノートパソコンによって下記のようなメッセージが表示され、タッチパッド機能が無効になることがあります。タッチパッド機能を有効にしたい場合は、お使いのノートパソコンのタッチパッド設定を確認してください。

※お使いのパソコンによって表示/設定方法が異なる場合があります。

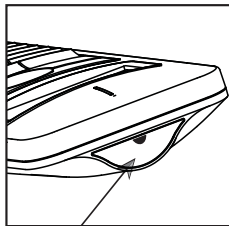


●レーザーを長時間照射し続けると、レーザー光が弱まる場合があります。その場合、しばらくOFFにした状態で置いてください。

レーザーの安全基準

本製品はJIS『レーザー製品の放射安全基準C6802 クラス2 レーザー装置』に該当します。

クラス2レーザー装置
- 最大出力: <1 mW
- レーザー波長: 532nm
- レーザー光の種類: 持続波



レーザー光出力口



安全にお使いいただくために

この装置は、クラスB情報装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- 本機とパソコンの間の通信には2.4GHzの周波数を使用しています。本機の近くで同じ周波数の製品をご使用になる際は、本機が正しく動作しない場合があります。
- 本機とパソコンを通信する際、近くに金属物がある場合は、通信距離が短くなる場合があります。

警告

取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

- 落したり、ぶつけたり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合はパーソナル機器修理受付センターにご連絡ください。
- 万一、表示画面が破損して中の液晶（液体）が漏れた場合は、絶対に触れないでください。
- 万一、本体が破損した場合は、パーソナル機器修理受付センターにご連絡ください。
- 本機を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電の原因になります。

【航空機内・病院でのワイヤレス製品使用について】

航空機内での無線機器の使用は、計器に悪影響を及ぼす可能性があるため禁止されています。機内での本機の使用は避け、機内に持ち込むときは電源をお切りください。病院など、電波機器の使用が禁止されている場所で本機を使用しないでください。本機の発する電波により、医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。

注意

- 湿気やほごりの多い場所には置かないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 本機の上には重いものを載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して怪我の原因になることがあります。
- 本機の内部に、水や液体、異物（金片）が入ると、火災や感電の原因になることがあります。その場合は、パーソナル機器修理受付センターにご連絡ください。

警告

- 子供に使わせないでください。
- レーザー光を絶対に覗きこんだり、レーザー光を人に向けしないでください。
- レーザー光を眼には絶対に直接照射しないでください。
- レーザー光を鏡などに照射すると、反射光で目を傷める恐れがあります。